



# Pink Ribbon Festival in Tsukuba 2010

報告書





# つくばピンクリボンフェスティバル 2010

Breast Cancer Awareness 乳がんと私たち

2010年5月9日(日) 母の日 つくば国際会議場エポカル

## イベント

ピンクリボンラン 4月29日(昭和の日)  
銀輪隊ツーリング 5月8日(土)

## タイムテーブル

10:00-	<p>受付開始/多目的ホール入り口 (-15:00)</p> <p>乳がん検診/大会議室101・南駐車場</p> <p>ウォーク/エポカル・ペディストリアン</p> <p>乳がん相談コーナー/中会議室201 (-12:00)</p> <p>ピア交流サロン・患者コーナー/中会議室202 (-16:00) エイボンメイクアップ講習会 つくばライアーの響き演奏</p> <p>展示ブース/多目的ホール (-16:00)</p> <p>ピンクリボン絵画展・メッセージツリー /中ホール300口ビー (-16:00)</p>
11:00-12:40	<p><b>ピンクリボン on ステージ</b>/ 多目的ホール</p> <p>司会：鈴木 もえみ</p> <p>筑波大吹奏楽 Pua_Nani (フラダンス) つくばライアーの響き (竖琴) エイボンリボンコネクションツアー2010 DAS (ヒップホップダンス)</p>
13:00-16:00	<p><b>中ホール300イベント</b> (開場12:40-)</p> <p>総合司会：松岡 正美</p> <p>開会の挨拶 市原 健一(つくば市長) 青山 充(茨城県保健福祉部長兼保健予防課長)</p> <p>講演 <b>「乳がんは突然やってくる」</b> 太田代紀子(おおたしろクリニック) 司会：森島 勇(筑波メディカルセンター病院乳腺科)</p> <p>講演 <b>「あなたには検診を お嬢さんにはワクチンを！ ～子宮頸がんは知る事で予防できます～」</b> 沖 明典(筑波大学産婦人科) グラクソ・スミスクライン株式会社主催 司会：西田正人(霞ヶ浦医療センター院長)</p> <p>あなたの町、わたしの町の乳がん検診 2010版 中野潤子(つくばピンクリボンの会)</p> <p><b>トークショー・Q&amp;A</b> ゲスト 羽田美智子(女優) 司会 松岡正美(フリーアナウンサー) 解説 植野 映(NPO法人つくばピンクリボンの会理事長)</p> <p>閉会の辞 五十嵐 徹也(筑波大学附属病院長)</p>

発行：NPO法人つくばピンクリボンの会  
写真：齊藤さだむ

写真・画像・記事等の無断転載、無断使用を  
お断りします。



主催	つくばピンクリボンフェスティバル2010実行委員会 NPO法人つくばピンクリボンの会 Tsukuba Pink Ribbon Coalition
名誉大会長	市原 健一/つくば市長
名誉大会実行委員長	五十嵐徹也/筑波大学附属病院長
大会実行委員長	森島 勇/筑波メディカルセンター病院乳腺科
共催	筑波大学附属病院、茨城乳腺疾患研究会、茨城県、つくば市、NPO法人乳房健康研究会 財団法人筑波メディカルセンター、社団法人茨城県放射線技師会、財団法人茨城県メディカルセンター 東京医科大学茨城医療センター、財団法人茨城県総合健診協会 取手市医師会取手北相馬保健医療センター医師会病院、日立メディカルセンター 土浦協同病院、茨城県医師会
後援	茨城県ウオーキング協会、NHK水戸放送局、茨城県看護協会 首都圏新都市鉄道株式会社(TX)、J:COM茨城

協賛	アストラゼネカ株式会社、株式会社アートネイチャー、アフラック水戸支社、アロカ株式会社、株式会社ウロメディカルジャパン、エイボン・プロダクツ株式会社、QOL総合研究所(Q研)、小野製薬工業株式会社、協和発酵キリン株式会社、サノフィ・アベンティス株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、塩野義製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、武田薬品工業株式会社、中外製薬株式会社、日本化薬株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、久光製薬株式会社、ファイザー株式会社、富士フィルムメディカル株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、桃谷順天館、株式会社ヤクルト、ユコー株式会社、株式会社ワコール、岩佐医院、石岡市医師会病院、医療法人おたしろクリニック、貝塚みずき野クリニック、医療法人社団希望会烏山診療所、研究学園クリニック、特別養護老人ホーム「木の花さくや」、医療法人弘仁会志村病院、筑波記念病院・トータルヘルスプラザ、つくば辻クリニック、つちうら東口クリニック、土浦産婦人科、二の宮越智クリニック、宮川内科胃腸科医院、日高耳鼻科医院、前島レディースクリニック、イーアスつくば、株式会社イセブ、株式会社カスミ、常陽銀行研究学園都市支店、関彰商事株式会社、株式会社総合印刷新報社、ダイワハウス株式会社、株式会社筑波サービス、つくば学園ロータリークラブ、広沢グループ、有限会社宮島達男事務所、株式会社横山印刷、ピンクリボンクラブひたち、くるみの会、森の会、たんぼぼ会、NPO法人 J-POSH
----	--

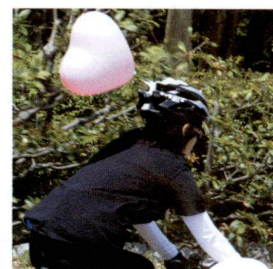
## 参加データ

参加者総数	1261名
ピンクリボンラン	84名
銀輪隊	15名
乳がん検診	78名
ウォーク	580名
乳がん相談	15名
講演会・トークショー	約600名

ボランティア数	191名
展示ブース団体	13団体（患者会も含む）

## 取材協力

NHK水戸放送局、J:COM茨城、ACCS



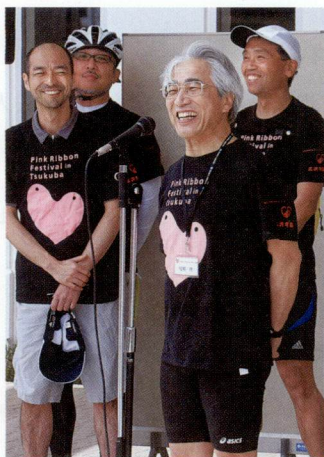


# ♥ つくばピンクリボン フェスティバル2010を終えて

植野 映

NPO法人つくばピンクリボンの会理事長  
筑波メディカルセンタープレストセンター

ついに乳癌は、年間の発生数が5万を超え、35歳から65歳までの女性においては癌による死因の第1位を占めるにいたった。しかしながら、全国の乳癌検診の受診率は17%、つくば市においてははもまだに7%と低迷しているのが現状である。この数値は5年前の4%と比較すると前進といえるが目標の50%にはほど遠い。



他方、一般診療を行っている上では変化の兆しもみえる。県南地方では行政が関与しない職域健診や、人間ドックによる乳癌検診が比較的多くなっているようだ。がん登録を見ても早期乳癌の占める割合は東京より高く、より早期に発見していると推定される。その点では、茨城県は乳がん検診の先進県ともいえるであろう。これは、われわれのピンクリボンの活動が好影響を与えているものと思われる。その内訳をみると、日本が格差社会へと変化すると同時に癌患者の内訳も格差社会の兆しが現れてきている。すなわち、乳癌においては早期発見のグループと進行乳癌のグループとに分かれてきている。過去において病期Ⅱの患者が多かったが病期Ⅰへとシフトし、病期Ⅱは少なくなっているのである。一方、取り残される方、特に進行させてから病院を訪れる方は一向に減少しない。これらの不幸な患者は一定の割合を保っている。がんと思いながらも病院を早期に受診しない方々である。原因としては、家庭環境、恐怖感、厭世感、無知などがあげられる。

また、もう一つの女性の代表的な癌、子宮癌においてはその罹患が急に増えている。特に乳癌より若い女性に増えており、深刻な社会状況となった。ウイルス感染であることが分かっているが日本の政府も学会も啓発には二の足を踏んでいた。理由は子宮癌が

性行為により感染すると発表すると精神的な影響が強いということであった。今のように蔓延することは10年以上も前から想定されていたにもかかわらずここまで放置されてきたとは非常に残念である。

逆に情報網の発展により、乳がんについて誤った情報も多く、20歳代の女性にマンモグラフィ検診を行う施設があるなど監視しなければならない問題点にもいとまがない。

今回のピンクリボンではこれらの現状を踏まえ、一般市民の目に届くようにと無料検診をはじめ羽田さんを迎えてのトークショーを目玉に、乳がん、子宮頸がんの啓発講演などを行った。その結果、参加者も多く、私たちの訴えが比較的届いたのではないかと思われた。中でも各市町村の検診の詳細な調査でどこに問題点があるのかも浮きぼりにされ、今回のフェスティバルにより更なる前進をみた。これも実行委員の一人ひとりが自主的にボランティアとして活動した賜であろう。皆様には感謝申し上げたい。

## ♥ 総論

森島 勇

つくばピンクリボンフェスティバル2010実行委員長  
筑波メディカルセンター病院乳腺科

今年でフェスティバルは6回目になります。今回のキャッチフレーズは、増加を続ける乳がんに対して、もっと身近な問題として向き合っていこうという思いをこめて、「乳がんと私たち」に決めました。プレイベントとしてのピンクリボンラン(10km)と銀輪隊ツーリングでは、市内を駆け巡り、フェスティバルをアピールできました。5月9日の当日は、ハート型のピンク色のバルーン3000個による造形パフォーマンス、無料の乳癌検診、幼稚園児による母の似顔絵展、高校生による標語のメッセージツリー、患者さんのコーナー、啓発展示ブース、晴天の中の5km・10kmウォーク、吹奏楽・竖琴演奏・フラダンス・ヒップホップ





ブダンスの華やかなステージイベント、乳がんと子宮頸がんの啓発講演、羽田美智子さんとのトークショー、とたくさんの企画が行われ、1200名を越える参加者を得て、おおいに盛り上がることができました。無事に終了する事ができたのは、活動に賛同して下さる関係者皆様からの多大なるご支援のおかげと、心より感謝いたしております。フェスティバルを通じて、乳がんについて関心のない方々にも、乳がんについて知ってもらい、早期発見のために検診を受けるという行動をおこしてもらえることを願っています。高い検診受診率が得られるまで、引き続き、啓発活動を展開し続けていきたいと考えております。今後とも、ご指導・ご支援の程、よろしくお願いいたします。

## ♡ ピンクリボンラン

松崎 秀昭 実行委員 筑波メディカルセンター病院

今年で2回目となったピンクリボンランが4月29日昭和の日に行われました。昨年の66名を超える85名が参加となり、大いなる盛り上がりを見せました。参加者全員でピンクリボンのTシャツを着てバルーンやパンフレットを配布し、フェスティバルをアピールしながら新緑のつくば市内を駆け抜けました。

コースはイーアスをスタートし、カスミセンター方面、LALAガーデン、つくばセンター、中央公園と周回し、再びイーアスへ戻りゴールとなります。人通りが少なく、車に乗っている方へのアピールも難しかったですが、つくばセンター付近ではたくさんの方々がパンフレットを受け取って下さいました。中央公園で休憩後、ゴールまで最後のアピールをしながら駆け抜け、参加者全員が無事完走となりました。

御協力いただいた皆様、ありがとうございました。そして、御参加いただいたランナーの皆様、お疲れ様でした。ゴールした時の笑顔は本当に輝いていました。



## ♡ 銀輪隊ツーリング

八木 淳子 NPO法人つくばピンクリボンの会事務局長

例年銀輪隊はフェスティバル前日のため、準備で忙殺され、なかなか本気で応援することができなくて少し悲しく思っていた。1、2年前だったか、オフィスに最後の準備に取り掛かるため車を走らせていると、緑濃い市内の細い道路から不意に、黒地にピンクのハートのシャツ、ピンクの風船の団が現れた。それは、無機質な灰色のつくばの町でひととき異彩を放ち、木々の緑、黒、ピンク、そして自転車とライダーのフォルムと絶妙な絵であった。自分がいつも前日までバタバタしている羨望もあり、ある種あこがれのイベントでもあった。

今年は準備の段取りがうまくいき、かなり余裕で現場に駆け付けることができた。めまいがするほどの陽光の中、ピンクの風船を精一杯の肺活量で膨らませながら、ライダーたちを待つ。

今年も松永かずはるさんの協力を得て、15名の頼もしいライダーが集合した。中に一人、物静かながら、圧倒的なオーラを放つ、背の高い男性がいた。その方がプロの監督である浅田顕氏だと後で知った。黙々と風船を膨らませてくれていた姿が微笑ましく思い出される。

ピンクの風船を自転車やヘルメット、自分の腰に目一杯付けたライダーたちは、次々と中央公園を出発し、町へ繰り出した。

5月の光を浴び、風を切り、その颯爽とした姿にこの活動の未来が見える思いがした。





## ♥ バルーンパフォーマンス

佐々木 京子

実行委員 筑波メディカルセンター病院乳腺科

今回のバルーンアートでは上野先生企画のもと、いくつかの仕掛けが施されました。

まず、エントランスの三連バルーンアーチはインパクトがあり、アーチの前で記念撮影をする人々もいらっしかったです。また、ウォーク参加者にはスタートでバルーンを手渡すだけでなく、10km組と5km組の交差点でもバルーンで迎えようという趣向が凝らされました。

当日は少し風がありましたが晴天に恵まれ、青空に淡いピンクのバルーンがとても清々しく映えていました。この愛らしいバルーンの宣伝効果は抜群だったことでしょう。噂どおりのバルーンの端を結ぶ指先の痛



みは、バルーンを手渡したときの人々の満面の笑顔ですべて吹き飛んでしまい、喜びあふれる仕事でした。

初参加させていただきましたが、皆様のバイタリティーあふれ、心のこもった活動には大変感銘をうけました。来年が益々楽しみです。

## ♥ ウォーク

春日 晴夫

実行委員 (財) 茨城県メディカルセンター

見慣れた朝の光景、ピンクの風船のうねりのなか立ち働く人々。

六回目のフェスティバル、同じく回を重ねる数々のイベント。それを支えるボランティアの皆さん。ウォーク、年々参加者が増え、苦勞も増えるがそれにもまさる楽しみ。昨年からは高校生ボランティアの方に受付をお願い。成人ボランティアの方々もなじみの顔。成功の予感。天気は上々、参加者数も過去最高の賑わい。10キロコースのスタートを見送り、5キロの準備体

操。ウォーキングの基礎と楽しみかたをウォーキング協会の方。

制服姿も凛々しいカブスカウトを先頭に5キロコースのスタート。広場を最後の方が出る頃、先頭は遥か彼方。多目的広場のイベントとの兼合いを心配するうち、しんがりのウォーキング協会の方の到着を知る。

一年が終わった。皆さんありがとうございました。



## ♥ 受付

神田 裕子 実行委員

私の周りでも「大丈夫私はガンにならないから」とか「検診にいて悪い結果だったら、と思うと怖くていけない」という話を聞きます。そう思う気持ちはよ〜〜わかりますが、早期発見の為に是非乳がん検診を受診してほしいと願っています。早期発見ならば、身体的にも経済的にもそして精神的にも軽いのです。、、、とそんな思いから今年もフェスティバルに参加いたしました。

受付を担当して今年で4年になります。受付係は今年も半分以上の方が受付は初めてというボランティアの方々でしたが、皆様のご協力の下スムーズに進んだと思います。どんなイベントでも最初の印象というのは大切なので「笑顔で、元気よく」の対応を心掛けました。しかし、焦った状況になるとなかなかそうもいかないものです。今後の課題のひとつですね。

皆さんとお会いすることを楽しみにまた来年も元気に参加できるといいな、と思っております。



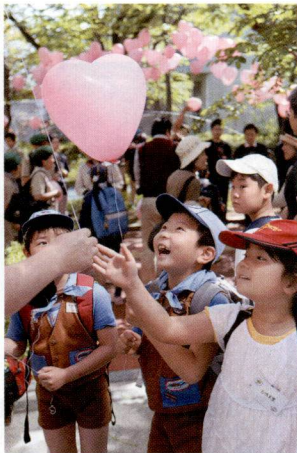
## ♥ 乳がん検診

井上 明子 臨床検査技師 茨城県総合健診協会

今年度も取手医師会病院・日立メディカルセンターの方たちと、検診スタッフとして参加し、超音波車3台・マンモグラフィ車3台を配車しました。

私たち検査スタッフもピンクリボンTシャツに着替え、検診バスもピンクバルーンで飾られて華やかな検診会場でした。ボランティアの方たちの誘導もあり、スムーズに検査を終えることができました。

受診された方の中には、これまでも乳がん検診を受けた経験のある方も多く、意識の高さが感じられました。これからもこのような機会を通して、乳がん検診をたくさんの方に体験していただき、検査を身近に感じてもらえればと思います。



## ♥ 乳がん相談コーナー

梅本 剛

実行委員 筑波メディカルセンター病院乳腺科

毎年の恒例となっております、乳がん相談コーナーを担当いたしました。

今年は6名の乳腺専門医・認定医の先生方に相談医をお願いいたしました。事前申し込みは9名とやや少なめでしたが、当日に6名の相談申し込みがあり、計15名の方からの相談を受けました。

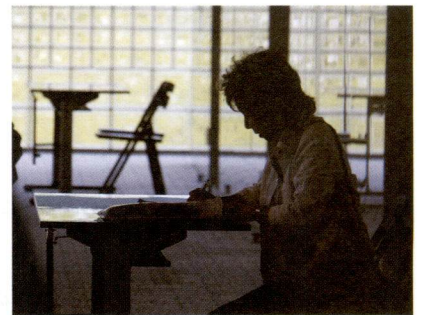
相談コーナー周囲はなるべく静かで落ち着いた環境となるようこころがけ、また待機されている相談者の不安や緊張を和らげるため、乳がん看護認定看護師と会話ができるようにした席を設けました。

相談内容は乳房再建や術後薬物療法について、再発の不安やリンパ浮腫についてなど幅広いものでした。相談者の希望や各相談医の得意分野、当日の進捗をふまえて割り振りを行いました。相談医の先生方には相談者ひとりひとりにゆっくりと、丁寧な対応をして

いただきました。予定時間を超過いたしました。相談者全体の満足度も非常に高いようであり、相談終了後に明るい表情で各イベントを楽しんでいらっしゃる様子が印象的でした。

今後も、ひとりでも多くの方に前向きな気持ちで治療を受けていただけるよう、「乳がん撲滅」を目指すつくばピンクリボンの活動のひとつとして、地道に続けていければと思います。

最後に、ご協力をいただきました相談医の先生方に心より感謝を申し上げます。



相談医（敬称略）

佐藤 宏喜（水戸赤十字病院）

福田 禎治（弘仁会志村病院）

武田 泰隆（複十字病院）

原 尚人（筑波大学）

坂東 裕子（筑波大学）

平野 稔（茨城県立中央病院）

## ♥ ピア交流サロン・患者のコーナー

伊東 孝子 実行委員 たんぽぽ会

全体的には昨年同様沢山の方々が足を運んで下さいました。その中で今年は、家族と一緒に来て下さった方々が多かったように思います。

新企画のエイボンさんのメイクアップ講習会は、フリーで参加できるようにしたため、皆さん気がねなく立ち寄られていました。治療のために抜けてしまった眉の描きかたや、つけまつ毛の付け方、顔を気にしてファンデ・口紅の色の選び方など…。

竖琴ライアーのしっとりとした演奏は、多目的ホールの、待ち時間に皆さん聞いて下さっていました。

今回中ホール300の講演を、患者の会コーナーで同時中継で見られることに、患者会の皆様を含め、遅くに参加された方々も感激しておられました。

患者の方々は、話を聞いてもらえる場を探している



事（家族も同様）・同じ病気を経験した人達の話が聞きたい（情報も含めて）と思っていることを強く感じました。

早期発見だけをアピールするのではなく、患者になってしまった方々に寄り添えることもできる、つくばピンクリボンフェスティバルに、協力させていただいていただけることを、ありがたく思った1日でした。

## ♡ 展示ブース

小仁所 圭子 実行委員 石岡医師会病院

医療機器の展示ブースがなく、例年に比べてやや物足りないような気分もありましたが、さまざまな立場の方々が、それぞれのアイデアを持ち寄って展示されたブースへの想いはただひとつ、“乳がんから守ってあげたい”という想い。その温かい想いを込めた展示ブースには、今回も多くの方が立ち寄っていました。茨城県放射線技師会のブースにおきましても、マンモグラフィや超音波、MRIの写真などを展示しており、お陰さまでクイズに答えて頂いた方に用意致しました



景品150個、全てお立ち寄りくださった方々の手に行き渡りました。乳がん検診受診者が着実に増え、悲しい想い、辛い想いを少しずつでもいい、減らしてゆけたらと思います。

## ♡ ピンクリボン on ステージ

平井 理心 実行委員

筑波大学附属病院総合がん診療センター

中野 潤子 実行委員 くるみの会

今回は、5つのプログラムを設け、鈴木もえみさんの明るい澆刺とした司会で進められました。

まず、筑波大学吹奏楽団の演奏で幕が開きました。フレッシュな生き生きとした音で、ディズニーメロ

ーなど2曲を奏でてくれました。続いて、環境研フランダースチームの、子供達の可愛い踊りや大人のしっとりとした踊り、先生二人のあでやかで優雅な踊りが披露されました。つくばライアーの響きの皆様には、豎琴の静かで美しい音楽の演奏と歌がありました。心に沁みいる音で、観客もとても静かに聞き入っていました。

エイボンピンクリボンコネクションツアーでは、エイボン（株）のピンクリボン活動が紹介され、青森ピンクリボンの活動も紹介されました。そして、つくばへとリボンの伝達が行なわれ、会場の皆さんも一緒に手をつないで活動をして行こう、との団結がありました。



最後は、DASというヒップホップのグループのダンスでした。つくば市内の中高生のグループです。元気に満ち溢れ、一所懸命ダンスをする姿からエネルギーをもらいました。



ピンクリボン on ステージでは、発表をしていただいた皆様、そ

のご家族の皆様と来て頂いた観客の皆様にも、ピンクリボンの活動について、知っていただけた事がとても良かったと思います。これを機会に、一人でも多くの方に、乳がん・子宮がんについて知識を持っていただけたらと、思いました。

## ♡ 中ホールイベント

小林 奈美

実行委員 茨城県保健福祉部保健予防課

午後1時より中ホール（定員300人）にて開会式を開催、つくば市細田副市長と茨城県の青山保健福祉部次長兼保健予防課長が挨拶、それぞれ乳がん検診の受診率向上について行政の立場から前向きに取り組む旨を約束しました。

太田代先生は「20歳代は自己検診、30歳代は超音波検診、40歳代以上はマンモグラフィ、自覚症状が



あったら検診はだめ、病院へ」という図式により、すべての女性のための乳がんつきあう方法を一般化して提示して下さいました。

沖先生は子宮頸がん予防ワクチンというテーマによって、女性の一生において出産が持つ尊さや、命の重さ・大切さについて改めて目を開かれるようなお話をされました。

トークショーは、軽妙な進行、羽田さんの清潔感あふれる美女っぷりに負けない植野先生・松岡さんの魅力と参加型形式が非常にうまくはまって、楽しいのにこれまた本当にためになるという理想的な瞬間を目撃しました。

閉会式では筑波大学附属病院の五十嵐病院長が、1日を振り返り絶妙な笑いを取りつつ健康を大切にというお話をされました。



## ♥ 中ホールイベントに参加して

坂井 望

東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科

ボランティアとして中ホール300で行われたイベントに参加させていただきました。

今年は会場の皆さんと羽田美智子さんと一緒に問題形式で乳がんについて考えるという時間があり、会場の皆さんが講演を聞くという受け身の立場ではなく、自分自身で乳がんについて考えるという立場で積極的に参加できる機会があり、私も貴重な時間を過ごさせて頂きました。

午後の講演を通して、早期発見するには医療の進歩だけでは限界があり、普段私たちが大学で学んでいる事を如何に伝え広めていくかということの重要性を改めて感じました。このつくばピンクリボンフェスティバルが毎年行われ、乳がんについて知り、考え、行動する人が増える事を願います。



## ♥ ボランティアで参加して

伊藤 朱里

東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科

今回ボランティアとして参加させて頂いたのですが、同年代の学生～幅広い年代の方とお話をしたり触れ合うことができ、とてもうれしく思います。

今回子宮頸がんのワクチンについての講演でしたが、私も前からワクチンについては興味がありました。TVでも様々な情報が飛び交っていますが、医師の方の講演は説得力があり、ワクチンについて真剣に考えるきっかけとなりました。

羽田美智子さんのトークショーでは、クイズをはさみながら羽田さんのピンクリボンに対する考えや、友人の方の闘病のお話が聞けて、楽しみながら大切なことも考える事が出来たと思います。

乳がん、子宮頸がん、今まで正直身近に感じる事はありませんでしたが、乳がんは18人に1人がかかり、子宮頸がんでは約2400人の人が毎年亡くなっているのを知り、とても身近な病だと感じたとともに、予防していかなければいけないと思いました。

1日で知識を得ただけでなく、考え方も変わってフェスティバルに参加して本当に良かったと感じています。

## ♥ フェスティバル2010に寄せて

国谷 健介 中外製薬株式会社

本年もつくばピンクリボンフェスティバルが盛況であったこと、心よりお祝い申し上げます。

私達、企業関係からは20人がお手伝いをさせて頂きました。早朝に会場前に集合し、毎年恒例のバ





ルーンパフォーマンス用の風船を膨らませることから始まり、その後「多目的ホール」と「中ホール300」に分かれて

それぞれのイベントのお手伝いをさせていただきました。お手伝いをさせていただきながら、私達自身も楽しませていただきました。

今後もこういったサポートを通じて、ピンクリボン活動の主目的である「検診率の向上」に向け微力ながら貢献できればと思います。

## ♥ フェスティバルに参加して

三好 博子 筑波大学臨床医学系循環器内科

つくばピンクリボンフェスティバルがエポカルで開催され始めた時より、筑波大学のブースで物品販売の手伝いをさせていただいております。今年も参加者の皆様から元気と勇気をいただきました。

開催当初、聞こえてきたのは涙・涙の体験談でしたが、年々増加する参加者各位の逞しい協力と事務局の皆様の一生涯懸命さが、誰でも参加したくなる楽しいフェスティバルへと変えてきたように思います。

今年の講演では「乳がんの発病18人に1人」という

話に驚きました。多くの女性がこの数字を自分の事として考えられるまで、乳がん情報を発信するつくばピンクリボンフェスティバルの役割はあります。悲しいくらい思いをする人が少しでも減らせるよう頑張りましょう。協力いたします。



## ♥ 実行委員

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 五十嵐 徹也 | 筑波大学附属病院長               |
| 市村 優一  | 財茨城県メディカルセンター           |
| 伊東 孝子  | たんぼぼ会                   |
| 植野 映   | 財筑波メディカルセンタープレストセンター    |
| 上野 修   | 上野歯科医院                  |
| 梅本 剛   | 財筑波メディカルセンター病院乳腺科       |
| 太田代 紀子 | おおたしろクリニック              |
| 大塚 正裕  |                         |
| 小田 陽子  | 筑波大学臨床医学系乳腺甲状腺内分泌外科     |
| 小野 幸雄  | 財筑波メディカルセンターつくば総合健診センター |
| 貝塚 広史  | 貝塚みずき野クリニック             |
| 春日 晴夫  | 財茨城県メディカルセンター           |
| 川上 清   | 茨城県ウォーキング協会             |
| 神田 裕子  |                         |
| 鯨岡 結賀  | 筑波記念病院放射線科              |
| 小仁所 圭子 | 石岡市医師会病院                |
| 小林 奈美  | 茨城県保健福祉部保健予防課           |
| 坂井 朋夫  | 東京医科大学茨城医療センター放射線部      |
| さかいひろこ | momo                    |
| 佐々木 京子 | 財筑波メディカルセンター病院乳腺科       |
| 鈴木 武樹  | 取手北相馬保健医療センター医師会病院      |
| 高木 聡   | 財日立メディカルセンター            |
| 辰見 政徳  | 財茨城県総合健診協会              |
| 田中 佐代子 | 筑波大学芸術学系                |
| 東野 英利子 | 筑波大学臨床医学系放射線科           |
| 中島 勅人  | 財筑波メディカルセンター病院          |
| 中野 潤子  | くるみの会                   |
| 根本 礼子  |                         |
| 野口 恵   |                         |
| 坂東 裕子  | 筑波大学臨床医学系乳腺甲状腺内分泌外科     |
| 平井 理心  | 筑波大学附属病院総合がん診療センター      |
| 藤永 珠美  | つくば市保健センター              |
| 光畑 桂子  | 財筑波メディカルセンターつくば総合健診センター |
| 文 由美   | つくばセントラル病院外科            |
| 前島 朋子  | 前島レディースクリニック            |
| 松崎 秀昭  | 財筑波メディカルセンター病院          |
| 森島 勇   | 財筑波メディカルセンター病院乳腺科       |
| 八木 淳子  |                         |
| 山浦 俊一  | 茨城県保健福祉部保健予防課           |
| 山田 光子  | アルスホール ミュージアムショップ       |
| 山田 陽子  | 森の会 筑波メディカル・ピンクリボンの会    |



♥ **ピンクリボンラン** 4月29日(昭和の日) イーアス出発



受付開始



走る、走る!



つくばセンター付近

♥ **銀輪隊ツーリング** 5月8日(土) 中央公園出発



松永さんよりコースの説明



いざ出発!



風を切って

♥ **フェスティバル当日** 5月9日(日) つくば国際会議場エポカル



恒例の早朝バルーンパフォーマンス



受付の様子



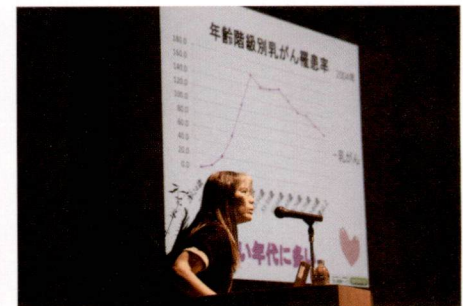
竹園公園にはいつの間にかこんなに人が...



多目的ホールのにぎわい



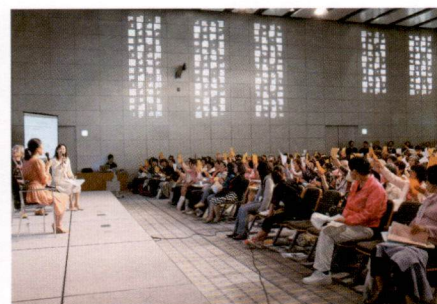
メッセージツリー



太田代先生



けがにもめげず沖先生



羽田美智子さんと一緒にクイズ



素敵なほほえみ



つくばピンクリボン会  
Tsukuba Pink Ribbon Coalition

NPO法人つくばピンクリボンの会  
Tsukuba Pink Ribbon Coalition

Tel&Fax: 029-856-2002 E-mail: tsukuba-pinkribbon@nifty.com  
<http://homepage2.nifty.com/tsukuba-pinkribbon/>

筑波学園郵便局私書箱20号 つくばピンクリボンの会 〒305-8691  
つくば市天久保1-1-1 筑波メディカルセンター病院西館2F 〒305-0005

